

神奈川県相模原市は本年度から、職員の農業体験「あぐりちゃんじ」を始めた。職員自らの農業に対する意識向上や組合員とのコミュニケーション活性化、他金融機関とJAとの差別化を目指す。

JA田名支店では、植栽スペースを利用した野菜作りを計画。ミニトマトやオクラ、エダマメ、サツマイモなどを栽培する。支店を訪れた組合員からは「間引いた芽は収穫してあいたスペースに植えるといい」「トマト

## 組合員と交流深め

神奈川県相模原市  
JA相模原市  
職員の農業体験始動



組合員からアドバイスを受ける武田支店長④  
(神奈川県相模原市で)

には肥料をもう少しあげたら」とアドバイスを受けるなど、組合員との会話のきっかけになっている。

管理は支店長・副支店長を中心に手分けして行う。農業経験者がマルチシートを張ったり、手のかいた職員が草取りをし

たりと、協力。「あぐりちゃんじ」の看板も職員の手作りだ。

6月末にはラディッシュを収穫し、各家庭で取れたての味を楽しんだ。夏野菜の収穫後は、秋、冬に向けた作付けも計画する。

同支店の武田真哉支店長は「草取りをしていると、組合員が声をかけてくれるようになった。農業を教えてもらいながら、職員の農業への意識向上も目指したい」と話した。

(神奈川県・相模原)